

愛情;子育ての土台

Part 1 正しいスタートを切る

どの社会においても家族は基本的な単位であり、守られるべきものです。親と子供に健康面・教育面でのサービスを提供している者として、子育ての原則が破られるとどのような悲劇が待ち受けているか強く認識しています。愛情や慈しみ、そして良い意図を持って子育てを始めたにも関わらず、素晴らしい家庭を育むという夢が悪夢に変わってしまいカウンセリングにやってくる親がいます。しかし悪いのは彼らの動機ではなく、方法だったのです。

子育ての成功を阻み、家族を崩壊させる**関連した二つの悪**があります。ひとつは子育てにおいて夫婦関係の大切さを軽視すること。もうひとつは子供中心の子育てを行うことです。

家族とは？

家族とは主要・二次的な社会的集まりによって構成されています。主要な集まりは三つの関係によって構成されています。それらは夫婦関係、親子関係、兄弟関係です。二次的な集まりは祖父母と孫、叔母と叔父、姪と甥、そしていとこを含みます。

夫婦関係

父親や母親としてではなく、夫や妻として私たちは子供に最大の影響を及ぼす。

生まれた子供はすでに確立された社会に加わるという事実を親はしばしば忘れてしまいます。多くの親は、結婚を子育ての間も優先しなければならない関係と見る代わりに、子育て前の準備段階の関係と見てしまっています。神様が家族に与えられた原則に反するこのような考えを持つことは子育てを始めるにあたって危険です。

神様はなぜ女性を創造したのか？

男性が一人で(不完全)自分を完全にしてくれる人を必要としていたからです。神のように礼拝する対象でなく、動物のように支配する対象でない人間を必要としたのです。女性のみが男性を、そして男性のみが女性を完全にします。そのような理由で夫婦が家族という単位の核となるのです。子供は家族を完全にするのではなく拡大するのです。

家族を導く原則

原則1: 神の計画により、聖書で最初に定められた社会的関係は夫婦関係である

神様は行動し、反応し、他の人と関係を持つように人間をつくりました。神様が社会における人間関係の原則を作られたのです。御自身の英知により、夫婦関係を基にしてすべての人間関係を作りました。父親と息子、母親と娘、兄と妹など他の関係は後で生まれたのです。

原則2: 神様の計画により、夫婦関係を基本的な依存関係とされた

依存関係はすべての被造物に見られます。神様が二日目に造ったものは一日目に造られたものからできました。同じように三日目に造られたものは最初の二日間に造られたものからできました。同じ考えが人間関係に対する神様の計画、特に家庭の関係において非常に重要です。しかも、親子関係の質は夫婦関係の質に関係しています。この真理が変わることは決してありません。

原則3: 家庭において夫婦関係が最も優先されるべきである

子育てを成功させるために優先順位をつけることが必要です。子供を愛しているならば夫婦関係を優先する必要があります。子供に何か買い与えたり何かしてあげる以上に、夫婦が愛し合っていることを子供たちに示す必要があります。夫婦は共に家族の頭であり心臓なのです。

原則4: 結婚が優先されるべき関係であり、他の関係は夫婦関係に従うべきである。

この原則は家族内の権威構造を表します。神様から権威を与えられた者は支配することができます。構造と秩序は子供の成長において重要な要素です。「民主的子育て」すなわち、親を子供と同等の立場とみなしてしまうことは神様の意図ではありません。

子供中心の子育て

親は自分の最愛の人、すなわちお互いを忘れて、子供に過剰なまでに焦点を当てるのがしばしばあります。よい子育てのつもりかもしれませんが、そのようなことが家族関係に亀裂をもたらす最初のステップになります。自分の人生を子育て中心に考えてしまう親は子供中心の生活を送っています。自分たちの世界に子供を迎え入れるのではなく子供たちの世界に入ってしまうのです。子供たちの行動の善悪を判断するよりも、彼らの感情を尊重してしまいます。

子供中心の子育ての問題

子供中心の子育てにおける5つの危険を以下に記します。

1. 子供中心の子育てが聖書的な夫婦関係に悪影響を及ぼす。
2. 子供中心の子育てが誤った独立独歩の態度を子供の心に植えつけてしまい子供の道徳的成長を阻む。
3. 子供中心の子育ては家族内での相互依存ではなくお互いからの独立を促す。
4. 子供中心の子育ては子供を野放しにしまい道徳に従うことを難しくさせる。
5. 子供中心の子育てが偶像崇拜になる危険性がある。

神は私たちに与え、受ける能力を与えました。子供中心の生活を送る親は子供に受けることは教えても与えることを教えていないのです。

バランスを保ちながら必要を満たす

以下がバランスを保つためのアドバイスです

1. **子供が生まれたら人生が終わるわけではありません。生活のペースが落ちるかもしれませんが人生が終わったわけではありません。**母親になると娘、妹、友人、また妻としての役割が終わるわけではありません。これらの役割は子供たちが生まれる前から重要でした。子供が生まれてからも自分の本来の役割を大切にしてください。
2. **子供が生まれる前、定期的にデートをしていたら、ただちにその習慣に戻るよう**にしてください。もしそのような習慣がなかったとしたらすぐに始めてください。特別なことをしたり長時間でかける必要はありません。友人や親戚に子供を見てもらって二人でかける習慣を取り戻してください。母親が父親と一緒にあれば子供は離れていることに不安を覚えることはありません。
3. **子供が生まれる以前、夫婦はお互いのために特別なことを頻繁にします。**もし好んで作っていたメニューなどあれば、食事のメニューに取り入れてください。男性の皆さん、子供だけでなく奥さんにもプレゼントを買ってあげてください。子供が生まれる前から行っていた特別な事を続けて行ってください。
4. **食事や交わりのために友人を家に招く**
人をもてなすことで家庭が他の人に仕える場であるということを認識させます。人の来訪に備えて子供のスケジュールを立てます。もてなすことを子供に手伝わせるのはよいことです。
5. **「ソファでの談話時間」を持ちましょう。**
仕事から帰宅した後10～15分ソファに座って夫婦で話す時間を持ちましょう。

まとめ

家庭が喜びと素晴らしい思い出に満ち、後悔に汚されないことが私たちの願いです。理想論を語っているのではなく、皆さんに方向性と励ましを与えたいのです。優先的な関係は意図的に作るもので、状況や社会の流行に左右されません。愛と一致という共通の目標によって支えられる時に家族の関係は最も安定します。夫婦関係を意図的に優先させてください。

質問

1. 子育ての成功を阻み、家庭崩壊をもたらす関連している二つの悪は何ですか？

1.

2.

2. 神様はどのような目的で女性を創造し、結婚という制度を定めたのでしょうか？

3. 家族関係における4つの原則を書き、それぞれの原則のキーワードに下線を引いてください。

原則1：

原則2：

原則3：

原則4：

4. 子供中心の子育てを定義し、なぜそれが誤っているのか理由を述べなさい。

宿題

1. お子さんたちは家族に迎え入れられたメンバーですか、それとも家族の中心ですか？家庭が子供中心になることを防ぐ方法を書いて来週クラスで分かち合ってください。

2. 父親の皆さん、今週仕事から帰ってきた後15分間奥さんと一緒に過ごしてください。お子さんの反応を来週のクラスで分かち合ってください。